

令和元年9月25日
独立行政法人日本スポーツ振興センター
広報室

＜国立登山研修所＞

消防職員向けの山岳遭難救助技術研修会を開催

日本スポーツ振興センター（JSC：JAPAN SPORT COUNCIL）が管理・運営する国立登山研修所（富山県立山町）は、消防庁から委託を受け、消防職員を対象とした山岳遭難救助技術研修会を開催します。

この研修会は、近年の山岳遭難救助事案の増加と平成30年6月に発生した北海道上川町における隊員滑落事案等を踏まえ、山岳遭難救助活動を行う消防職員40名を対象に、遭難救助に関する知識と技術、救助活動の構成法及びその指導法について研修を行い、専門的かつ高度な技能と知見をもつ指導者を育成することを目的としています。

国立登山研修所では昭和47年度から山岳遭難救助研修会を継続して実施しており、これまで当研修所が蓄積してきた山岳救助のノウハウを存分に活かせることから、本研修会の開催を決定いたしました。

研修会では山岳地帯での遭難現場における実践的な救助技術の指導はもちろんのこと、山岳地帯での一般的なリスクマネジメントや安全管理に関する講義を行い、安全な登山に対する当研修所の総合的な知見を提供します。

【令和元年度山岳遭難救助技術研修会（消防職員）研修会概要】

日程：令和元年9月30日（月）～10月4日（金）

場所：国立登山研修所および周辺山域

対象：各都道府県消防において山岳遭難救助組織の指導的立場にある者 40名

※詳細は[国立登山研修所ウェブサイトの研修案内](https://www.jpnsport.go.jp/tozanken/syusai/tabid/195/Default.aspx)のページをご確認ください。

<https://www.jpnsport.go.jp/tozanken/syusai/tabid/195/Default.aspx>